

Mastercam 2026 R2 Update1

メンテナンス日付について
Mastercam R2 Update1 のインストール
R2 の追加項目
Update 1 の修正項目

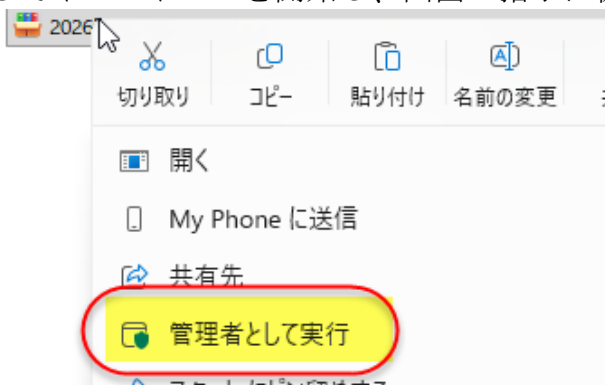
メンテナンス日付について

Mastercam 2026 初期リリース Update1 に必要なメンテナンス日付は 2025/6/30 です。
Mastercam R2 Update1 に必要なメンテナンス日付は 2026/1/31 です。

Mastercam R2 Update1 のインストール

※新規にインストールされる場合、Mastercam 2026 初期インストール Update1、R2 Update1 の順番でインストールしてください。

インストールファイルを右クリックして表示されるメニューから「**管理者として実行**」を選択してインストールを開始し、画面の指示に従ってインストールしてください。



バージョンの確認：

「ファイル/ヘルプ」→右側の製品情報の「**Mastercam について**」

表示されるバージョン：(2026 R2 Update1 インストール後)

Mastercam 2026.28.0.8437.0



バージョン番号一覧	
初期リリース	28.0.7534.0.
Update1	28.0.7821.0
R2 Update1	28.0.8789.0

R2 の追加項目

- レイヤー／平面マネージャにプロパティフィールド追加
- あり溝工具で工具径より大きいシャンク径をサポート
- タップ穴属性を色分け
- ユニファイド、自動クリアランスでの効率的な接続動作
- スワーフ、回転アドバンス軸固定時の余剰ワーク発生の回避
- Mastercam GPU 処理によるシミュレーション速度の改善
- ブルノーズ工具ユニファイド利用時、自動チルトによる干渉制御

Update 1 の修正項目

- 穴加工機能使用時に穴セグメントの表示が不正
- 特定の形状で Lathe ダイナミック荒取りがクラッシュする
- Mill、Lathe パーツでレイヤー名が表示されない
- Mastercam 2026 の再プロットの時間が以前のバージョンと異なる
- タップ作成時に 1 刃あたりの送りがインチ当たりのネジと連結せず送りと回転の計算が不正
- Mill 工具デザイナーで工具リストのカラムのソートに一貫性がなく思った通りに動かない
- 重複工具の警告が不正に表示される
- Mill 工具デザイナーで[Esc]キーで機能をキャンセル
- Mill 工具デザイナーでタップ作成時に刃数が 1 以上ある場合に送りと回転に入力が反映されない
- 「ネット」サーフェスを使用する際に閉じたジオメトリ選択するとクラッシュする
- GTC インポートで溝切り/突切り工具の刃先チップからのクリアランス幅を反映
- GTC インポートでインデックス可能なドリルで刃先チップがインポートされない
- 変形移動後にフェース色が削除される
- 3D ツールパスでパーツをミラーすると制限境界が回転する
- SOLIDWORKS の SLDPRT ファイルにエクセル形式の表テーブルがあると開かない
- バリ取り 3 軸の NCI 座標に工具平面が反映されない
- 加工指示の出力が遅い
- ジョブ設定で右ジョーフェースからのパーツ突出しが不正なことがある
- クラシック再プロットで切りくず除去を選択したドリルが反対方向で表示される